

地域交流 活動報告書

平成21年度・平成22年度



杏林大学

KYORIN



地域とともに



杏林大学学長 跡見 裕

地域の皆さまには日頃からひとかたならぬご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この地域交流活動報告書は2年間の活動をまとめて発行しております。

報告書をお読みいただければ、この2年間、本学が大学コンソーシアム八王子を母体とした活動の取り組み、各地域と連携した「健康、地域活性化、教育」を柱とした事業を増やしてきたことがお分かりいただけると思います。

特に、平成22年には新たに東京都羽村市との連携協定に基づく事業の取り組みが始まり、教員による講座、学生による教育支援事業など活動が広がっております。

このことは地域の皆さまと本学との地域連携が軌道に乗り、成果につながる事業に成長してきた証しととらえております。

今後も建学の理念に基づいた教育・研究活動を基本として、将来を担う人材の輩出とともに地域の一員として皆さまとの連携を深めて地域社会の期待に応えてまいります。

地域の皆さまには引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。



CONTENTS

地域とともに	1
--------	---

全学的取り組み

第3回八王子まちづくりフォーラム	4
第4回八王子まちづくりフォーラム	5
大学コンソーシアム八王子への参画	6
東京都羽村市との包括的な連携協定を調印	7
羽村市との主な連携活動	8

健康面での主な交流活動

多胎妊娠期から育児期にある家族の子育て支援	10
八王子に学ぶ大学生における手洗い行動への意識調査	11
極低出生体重児の育児支援サークル「ぴあんず」の活動	12
そのほかの健康面での交流活動	13

地域活性化面での主な交流活動

八王子地産地消マップの作成	14
若者をターゲットとした観光資源の発掘と観光情報の発信	15
観光情報の英語発信	16
アロマセラピーを用いたボランティア活動及び地域交流	17
電子町内会の取り組み	18
そのほかの地域活性化面での交流活動	19

教育面での主な交流活動

保護者が幼児に対して性教育を行うための支援	20
学生の食育	21
そのほかの教育面での交流活動	22

講演会活動

平成21～22年度公開講演会等	23
平成21～22年度八王子学園都市大学いちよう塾提供講座	25

第3回 八王子まちづくりフォーラム

「地域で子育てを支えよう」

平成21年11月7日（土） 八王子市学園都市センター

フォーラムでは、まず保健学部の田島治教授が『こころの健康』と題して基調講演を行いました。次のパネルディスカッションでは6人が、それぞれの活動を報告しました。

本学卒業の市議会議員・鈴木玲央氏は、市内で幼稚園を経営する経験から、地域の子ども会や近所付き合いの重要性を述べました。保健学部・佐藤喜美子准教授からは、多胎児育児支援の活動について報告があり、これを受けて「ふたご・みつご親の会ジェミニクラブ」代表の中澤園子氏は、育児サークルの意義を強調しました。

また、保健学部の学生が、市内小学校でのボランティア活動について紹介、大嶺智子教授は、活動を通して学生たち自身が成長できたことが意義深いと述べました。

八王子市子ども家庭部こどものしあわせ課課長の設楽聖一氏は、「子ども議会」における学生ポーターの役割とその効果などについて話しました。

その後、会場からは、学生ボランティア活動についての質問や、学生が地域のことに関わることが重要で、もっと地域に入ってほしいとの意見が出されました。

結びの挨拶に立った長澤俊彦学長は、大学の使命は教育と研究だけでなく地域への貢献も重要として、今後ともフォーラムを開催して八王子市のまちづくりへの提言をしていきたいと締めくくりました。

パネリスト

設楽 聖一 氏	八王子市子ども家庭部こどものしあわせ課課長
鈴木 玲央 氏	八王子市セント・ベル幼稚園理事長代行
中澤 園子 氏	八王子市「ジェミニクラブ」リーダー
秋葉 麻美	保健学部3年生
大嶺 智子	保健学部教授
佐藤 喜美子	保健学部准教授

コーディネーター

熊井 利廣	保健学部准教授
太田 ひろみ	保健学部准教授

(所属は当時のもの)



第4回 八王子まちづくりフォーラム

「魅力ある観光地へのまちづくりとひとづくり」

平成22年11月6日（土） 八王子市学園都市センター

「魅力ある観光地へのまちづくりとひとづくり」をテーマに、八王子市学園都市センター・イベントホールにて開催しました。平成22年度は、本学に観光交流文化学科が設置されたこともあり八王子市の観光の将来に目を向けた内容で企画しました。会場には八王子の観光に関心のある市民・学生などが多数参加しました。

跡見裕学長の挨拶に続き、八王子市の黒須隆一市長が挨拶に立ち、「何年も前から杏林大学の学生さんたちは、学生の視点で観光資源の活用を考えたり、他市の取り組みと比較したりして私たちと違う視点で八王子の観光についていい提言をしてくれています。こうして学生さんが継続的に八王子の街を考えていただいていることを大変ありがたく思っています。」と述べました。

次に由布院温泉観光協会会長である桑野和泉氏が『まちづくりとホスピタリティ』と題して基調講演を行い、由布院温泉の概要、これまで行ってきた観光地としてのまちづくりの取り組みを紹介しました。

基調講演の後、外国語学部観光交流文化学科の岩崎公生教授がコーディネーターとなって、桑野氏・西田隆氏（八王子市産業振興部）・藤原義雄氏（東日本旅客鉄道（株）八王子支社）・福島規子氏（オフィスヴァルト）の4名のパネリストが『魅力ある観光地へのまちづくりとひとづくり』をテーマに、ハードウエアとヒューマンウエア、その2つを結ぶソフトウェアの3つの切り口から発表と質疑応答を行いました。

ディスカッションの間では、外国語学部3年・岩崎ゼミの学生2名が、八王子の商店街の景観づくりと活性化について研究発表を行いました。各パネリストの発表のあと、一般参加者から受けた高尾山登山客を八王子市内にどう誘導するかなどの質問に対して熱心に意見交換をして、パネルディスカッションを終了しました。

閉会にあたり赤井孝雄外国語学部長が、「行動する大学として杏林大学は、キャンパスの中で完結するのではなく、今後もキャンパスの外に出て行動していきたい」と述べ、第4回のフォーラムを終了しました。

（所属は当時のもの）



大学コンソーシアム八王子への参画

平成21年度に八王子市在所の大学・短期大学・高等専門学校23校、ならびに八王子市行政諸団体による組織「大学コンソーシアム八王子」が発足しました。

本学は発足時から学長が理事を勤め、運営委員会・大学等連携部会・産学公連携部会において、教職員が委員として各事業の役割に就いています。

また、平成20年から3カ年間、文科省の戦略的大学連携支援事業「八王子未来学」にも加わり主にFD/SD事業や単位互換制度（本学は平成23年度から導入）に取り組んできました。八王子未来学の事業は引き続き大学等連携部会に移管され、本学も取り組んでまいります。

大学コンソーシアム八王子における事業では主に、「学生発表会・学生と市長とのふれあいトーク」への参加、大学による実践的地域活動「八王子まつり」運営補助、外国人留学生支援事業「八王子で暮らす留学生のための生活ハンドブック」作成、生涯学習推進事業における「学園都市大学いちょう塾」に取り組んでいます。

これらの活動を通して学生への教育的・社会的経験の場を提供するとともに大学として地域社会の期待に応えることができるよう引き続き努力してまいります。



東京都羽村市との包括的な連携協定を調印

東京都羽村市との協定は、相互の資源および研究成果等の交流を促進して、文化、教育、学術等の分野で連携して相互に協力し、活力ある地域社会の創造、人材育成及び両者の発展に資することを目的としたもので、地方自治体とこうした包括的な協定を結ぶのは本学としては初めてのことです。

協定調印式は平成22年6月29日（火）、羽村市議会関係者を招いて羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」レセプションホールで行われ、羽村市の並木心市長と本学の跡見裕学長が協定書にサインしました。



具体的な連携事業については両者で設置する連携協議会で検討することになりますが、これまで行ってきた本学医学部付属病院からの医師派遣や、講演・連続講座、本学学生の小学校での教育ボランティア活動をはじめ、地域産業・文化の振興、教育、生涯学習、まちづくり、学術研究、健康・福祉、自然・環境など様々な分野にわたって展開することを予定しています。

羽村市との主な連携活動

◆羽村市・杏林大学連携協議会を開催

本学と羽村市は昭和62年度から平日夜間急患センターへの医師の派遣、平成19年度からは文化講演会や連続講座等で連携を進め、平成22年6月29日に連携協定を締結したあと、連携事業の拡充を具体化するため平成22年11月16日、羽村市役所にて第1回羽村市・杏林大学連携協議会を開催しました。

協議会では、今後の新たな連携事業として、羽村市からは各種講演会などへの講師（教員）派遣や学生ボランティア派遣など19件、本学からはインターンシップ受入れや吹奏楽・室内楽の定期演奏会場の提供など10件の事案が提案されました。両者はこの提案を持ち帰りこの中から平成23年度に優先的に実施するものを選んで検討を詰めることにしました。

平成23年2月22日に本学八王子キャンパスで開催された第2回連携協議会では、スクールインターンシップ、羽村市立中学校生のAED等救命救急講習会、羽村市が所有する「清里自然休暇村」の本学関係者の利用、本学教員データベースの提供などについて協議しました。このうちスクールインターンシップについては平成22年度から継続実施し、AED等救命救急講習会については平成23年3月に実施し、教員データベースについては同年4月から本学Web上で公開しました。また清里自然休暇村の本学関係者の利用については、同施設の指定管理者と協定を結び、平成23年6月からほぼ市民料金で利用可能となりました。

次回は平成23年11月に協議会を開催して来年度の連携事業の企画やスケジュール等の具体的なプランを作成して最終検討するとともに、そこでは平成24年度の連携事業についてもその骨子を検討するなどして、以後年2回開催するこの連携協議会で双方からの提案の連携事業計画を策定し、実施に移していく予定です。

このように本学と羽村市は、双方が保有する人的・社会的資源を活用し合うことにより互いに質を高め合い、地域の発展に尽くしていく所存です。



◆羽村市立中学校のAED※等救命救急講習会

平成23年3月に本学保健学部救急救命学科の教員と学生が講師として羽村市の中学生に対し、心肺蘇生法とAEDの取り扱い講習会を実施いたしました。

保健学部教授による心肺蘇生・AEDについての講義後、1班につき2名の学生指導員がつき、9班に分かれシュミレーション形式による、人形を使用した心肺蘇生法とAEDの取り扱いを指導し、講習後に受講生に対し修了証を交付いたしました。

※自動体外式除細動器

実施日	実施場所	受講者数
平成23年3月3日（木）	羽村市立第二中学校	155名
平成23年3月7日（月）	羽村市立第一中学校	212名
平成23年3月9日（水）	羽村市立第三中学校	147名



◆羽村市スクールインターンシップ

羽村市スクールインターンシップ実施要綱に基づき、平成22年4月27日に「インターンシップ実施に関する覚書」を締結し、平成22年5月より本学外国語学部英語学科の4名の学生が、インターンシップとして羽村市立武蔵野小学校での英語活動に携わっています。

羽村市の小学校では1年生から英語の授業を取り入れており、本学の学生は、年間10回行われる1・2年生の授業、またはその補助を行っています。その他、空き時間を利用して、給食指導や他教科の学習サポートなどを行うことで、児童との関係を深めています。

保健学部

多摩多胎ネット（母子看護・助産学研究室／地域看護学研究室）

多胎妊娠期から育児期にある家族の子育て支援

代表指導教員：佐藤 喜美子（保健学部看護学科 准教授）

学生代表者：石井 怜（看護学科）

育児不安の緩和・情報提供を目的とした地域における子育て支援、具体的には母子看護・助産学の教員と学生達による多胎育児特有の情報の交換、育児相談、講演会を行いました。

学生は活動時、ご両親が安心して活動に参加できるように、保育ボランティアを担いました。



保健学部
公衆衛生学研究室

八王子に学ぶ大学生における手洗い行動への意識調査 —「手洗い推進ポスター」の作成と配布—

代表指導教員：照屋 浩司（保健学部健康福祉学科 教授）
学生代表者：倉持 翔多（臨床検査技術学科）

杏林大学と東京純心女子大学で学ぶ学生を対象に手洗い行動についての意識と行動の調査を実施しました。調査結果を受け、公衆衛生改善指導要点をまとめ、啓発ポスターを作成しました。

このポスターは八王子市内全域の大学、短大、専門学校に郵送し、公衆衛生改善へ取り組みました。



保健学部
母子看護学・助産学研究室

極低出生体重児の育児支援サークル「ぴあんず」の活動

代表指導教員：吉野 純（保健学部看護学科 講師）
学生代表者：長澤 大輔（看護学科）

「ぴあんず」とは極低出生体重児の会です。フリートークや専門家を招いての学習活動、小児科医・看護師による医療相談などを行いました。

親が子どもと離れ、自分のために使う時間を得ることができる憩いの場になっています。学生にとっても子どもの成長を目の当たりにする貴重な体験学習になっています。



そのほかの健康面での交流活動

平成21年度

実施月	内 容	活 動 主 体
9月・3月	三鷹市医師会難病健診	医学部・病院
10月	膠原病医療相談会	医学部・病院
10月	一日看護体験学習	医学部・病院
10月	災害時医療連携訓練	保健学部
11月	三鷹市農業祭 栄養・健康相談 AED操作指導	医学部・病院
12月	がん患者フォローアップ交流会	医学部・病院
12月	ジブリ美術館 救命講習会	医学部・病院
3月	三鷹市農業祭 葉の街頭相談	医学部・病院
3月	横田基地日米友好祭医療ボランティア	医学部・病院
3月	多胎育児交流会	医学部・病院
通年	三鷹市両親学級	医学部・病院
通年	のびのび子育て講座「応急手当」	医学部・病院
通年	八王子市新入教員へ救急救命講習会	医学部・病院
通年	リンパ浮腫ケア教室	医学部・病院
年2回	多胎育児準備クラス	保健学部
年9回	がん患者ストレス対処能力プログラム	医学部・病院

平成22年度

実施月	内 容	活 動 主 体
5月	「学生天国」HIVに関する情報提供	総合政策学部
6月	多摩市立第二小学校救急救命講習	保健学部
6月	八王子市立美山・加住・片倉台・陶鎔小学校救急救命講習	保健学部
7月	多摩病院救急救命講習	保健学部
9月	三鷹市リハビリテーションの会	保健学部
9月	八王子消防署主催救急救命講習への講師派遣	保健学部
11月	八王子駅周辺滞留者対策訓練	保健学部
12月	「ボランティアーズ」による老人ホームアロマボランティア	保健学部
12月	白梅学園高等学校教員対象AED講習	保健学部
2月	八王子マラソン救護員	保健学部
通年	日野市児童館子育て応援事業ボランティア	保健学部
通年	音楽療育鍵盤指導研究ネットワーク	医学部・病院
年3回	多胎育児準備クラス	保健学部

保健学部
公衆衛生学研究室

八王子地産地消マップの作成 —食事バランスガイド八王子への展開—

代表指導教員：長谷川 めぐみ（保健学部健康福祉学科 准教授）
学生代表者：原 千佳（健康福祉学科）

食料が消費者の口に入るまでにどれくらいの距離を運ばれてきたのかを数字で表したものがフードマイレージです。

フードマイレージゼロ・八王子の地産地消をめざした八王子版食事バランスガイドを制作することによって、八王子で生産されている食品が229品目もあることを紹介し、八王子産の食べ物を用いたたくさんの調理例を示しました。



外国語学部
野口洋平ゼミナール

若者をターゲットとした観光資源の発掘と 観光情報の発信

代表指導教員：野口 洋平（外国語学部観光交流文化学科 准教授）
学生代表者：中村 圭那（応用コミュニケーション学科）

若者や外国人から見た「東京」のイメージからは想像がつかない自然豊かな観光地「御岳山」の存在をもっと伝えていきたいとの想いで活動しました。

お土産屋さんでの会話やその人柄も観光資源の一つだということ、神社や石碑に英語表記があるとより正確に歴史が伝わるのではないかと、またコンビニエンスストアがないことや気温差が激しいこと、携帯電話の電波が弱いことに悩むといった基本情報の発信も大切なのではないかと考えました。

今後も御岳山活性のため活動していきます。



外国語学部
岩本和良ゼミナール

観光情報の英語発信

代表指導教員：岩本 和良（外国語学部英語学科 准教授）
学生代表者：芳澤 功（英語学科）

外国人がもっと楽しめる御岳山をめざして青梅市の「御岳山国際化プロジェクト」に取り組みました。

レストランメニュー、おみくじ、観光スポットPR動画を英語に翻訳しました。メニューが英語表記であれば宗教上食べられない食材などを誤って口にすることも避けられると考えています。

今後は観光協会や商店街の方々の温かさ、人と人とが繋がりをあえる場所があることを言葉で伝えていきたいと思います。



保健学部
臨床血液学・生理機能検査学研究室

アロマテラピーを用いたボランティア活動及び地域交流

代表指導教員：西村 伸大（保健学部臨床検査技術学科 講師）
学生代表者：中村 有紀子（臨床検査技術学科）

八王子市の老人ホーム「幸楽寺番館」にて、保健学部ボランティア同好会によるアロマオイルを用いたリラクゼーションの時間を設けました。
アロマ石鹸、アロマ虫よけスプレー、アロマ重曹、お香などを手作りしながらお年寄りの方々とコミュニケーションを図りました。



総合政策学部
進邦徹夫ゼミナール

電子町内会の取り組み

代表指導教員：進邦 徹夫（総合政策学部総合政策学科 准教授）
学生代表者：鈴木 茶亜里（総合政策学科）

私たちが4年間を過ごす八王子市宮下町ですが、地域のことをあまりよく知らないままに卒業してしまうのは惜しいと思い、地域のみなさんとの交流を図りたいと考えていました。

若松神社の秋祭りなど、これまでも交流を深めてきましたが、11月と12月に宮下町会のみなさんを対象としたパソコン教室を開催し年賀状作成などの指導を行いました。



そのほかの地域活性化面での交流活動

平成21年度

実施月	内 容	活 動 主 体
4・9月	全国交通安全週間に伴う学内交通安全活動	学生支援課
5月	「学生天国」における観光案内	外国語学部
5月	八栄寮「こどもの日フェスティバル」ボランティア	外国語学部
5・11月	高尾山口駅前観光案内&通訳	外国語学部
6月	大学内で杏ジャム作り	保健学部・総合政策学部・外国語学部
7月	多摩地区中学校野球大会への協力	保健学部
8月	「八王子まつり」観光案内&グッズ販売	外国語学部
9月	若松神社御祭礼運営補助	保健学部・総合政策学部
10月	「湧水と水文化フォーラム」留学生スピーチ	外国語学部
11月	留学生日本語弁論大会参加	外国語学部
12月	「That's八王子学一市長ふれあいトーク」への出場	外国語学部・総合政策学部
12月	TAMA21交響楽団員として演奏参加	外国語学部

平成22年度

実施月	内 容	活 動 主 体
5月	八栄寮「こどもの日」フェスティバル運営補助	外国語学部
5・8月	八王子観光コンシェルジェ活動	外国語学部
5・12月	調布フィルハーモニ管弦楽団コンサート参加	外国語学部
7月	多摩地区中学校野球大会への協力	保健学部
8月	八王子まつり会場警戒	保健学部
10月	TAMA21交響楽団定期演奏会参加	外国語学部
11月	立川市文化祭定期演奏	外国語学部
11月	ひまわり地域交流祭&バザー	保健学部
2月	秋の宮温泉郷雪まつり運営参加（秋田県湯沢市）	外国語学部
3月	日野市 CARMEN演奏会参加	外国語学部
通年	加住地域かるたの作成	総合政策学部



保健学部
母子看護学・助産学 幼児の性教育グループ

保護者が幼児に対して性教育を行うための支援

代表指導教員：土屋 有利子（保健学部看護学科 准教授）
学生代表者：安食 真美子（看護学科）

保育園に通う4・5歳児と保護者を対象に命を大切にすることと自分の体を守る大切さを『いのちのおはなし会』を通じて指導しています。

男女の体の違い、大人と子どもの違いに加えて、命の始まりから母親の子宮で胎児が成長する様子を人形を用いて説明し、赤ちゃんの誕生については周りの人たちの愛情に包まれて誕生したことをお話します。保護者には子どもからの性に関する質問の対応例を掲載した小冊子の配布もしました。



総合政策学部
野山ゼミナール

学生の食育

代表指導教員：野山 修（総合政策学部総合政策学科 教授）
学生代表者：永井 将史（総合政策学科）

八王子学生委員会主催の「学生天国」に参加しました。野菜に関するアンケート結果や八王子野菜の展示を行い、実践女子大学と八王子保健所の協力を得て野菜チップスの試食品も提供しました。

また、食生活改善に関心を持つ、八王子市農林課、市内の農家、郷土料理研究家、道の駅八王子滝山等の協力のおかげで、様々な人々と交流する楽しさも味わいました。



そのほかの教育面での交流活動

平成21年度

実施月	内 容	活 動 主 体
10月	横浜市港北区日本語教育相談	外国語学部
10月	「地域の企業から学ぶ」講演	保健学部・総合政策学部・外国語学部
10月	あきる野市立東秋留小学生と留学生の交流会	総合政策学部・外国語学部
12月	昭島市立清泉中学生と留学生の交流会	総合政策学部・外国語学部
3月	ツインズマーケット	保健学部
通年	図書館一般開放	図書館
通年	八王子市立高倉小学校英語サークルボランティア	外国語学部

平成22年度

実施月	内 容	活 動 主 体
5～7月	日本語ボランティア入門講座	外国語学部
年8回	日本語ボランティアステップアップ講座	外国語学部
通年	八王子市立高倉小学校英語サークルボランティア	外国語学部
通年	羽村市立武蔵野小学校英語教育	外国語学部
通年	図書館一般開放	図書館
通年	八王子市立加住小学校朗読・図書館司書ボランティア	外国語学部



平成21～22年度 公開講演会等

平成21年度

実施月	講 師	内 容
5月	熊谷文枝 (外国語学部)	アメリカを旅する
5月	古瀬純司 (医学部)	がん治療のいま —化学療法の前線—
5月	斎藤元秀 (総合政策学部)	大国の復活をめざすロシアの試練
6・11月	玉村禎郎 (外国語学部)	京都市市民大学講座「京ことば・京文化講座」
6月	小林治 (医学部)	新型インフルエンザ —その感染メカニズムと治療—
6月	平形明人 (医学部)	高齢者に多い目の病気
7月	八木橋宏勇 (外国語学部)	弘前大学医学部講義「方言と医療コミュニケーション」
7月	西孝 (総合政策学部)	バブルの発生と崩壊はなぜ繰り返す？ —経済活動に影響する人々の「予感」—
7月	金田一秀穂 (外国語学部)	だから日本語は面白い
9月	下島裕美 (保健学部)	ストレス社会を乗り切る工夫を考える
10月	医学部・病院	東京都脳卒中市民公開セミナー
10月	岩崎公生 (外国語学部)	東京のホテル最新事情
10月	小池秀海 (保健学部)	視覚と脳のはたらき —脳は周囲の世界をどのように理解するのか—
11月	医学部・病院	乳癌市民公開講座
11月	医学部・病院	三鷹老人クラブ連合会主催 健康に関する講演会
11月	玉村禎郎 (外国語学部)	京ことば京文化—雅の歴史—
11月	中村信幸 (外国語学部)	禅に学ぶ食事の心
11月	吉野秀朗 (医学部)	心臓病の予防と早期発見
11月	石田均 (医学部)	糖尿病の合併症を克服するために
1月	医学部・病院	佐久地区健康づくり地域講演会
1月	嵐洋子 (外国語学部)	ボランティア入門講座「日本語教師入門」
1月	古本泰之 (外国語学部)	生涯学習シンポジウム「地域に根ざした生涯学習とは —生き活きとした活動を目指して—」
3月	医学部・病院	「三鷹市学校保健会」研修会
3月	齋藤昭彦 (保健学部)	ゆるぎ文化講演会「新しいエクササイズ—神経に注目して 運動機能アップ・リハビリも変わる！—」

平成22年度

実施月	講 師	内 容
4月	神崎恒一 (医学部)	三鷹市市民公開講座「認知症 気づきのポイント」
5月	本田弘之 (外国語学部)	「世界の食文化」探訪
5月	駒形嘉紀 (医学部)	関節リウマチの最先端治療
6月	武井泰彦 (医学部)	三鷹公開講演会「めまいの話、あれこれ」
7月	八木橋宏勇 (外国語学部)	弘前大学医学部講義「方言と医療コミュニケーション」

実施月	講 師	内 容
7月	下島裕美 (保健学部)	ストレス社会を乗り切る工夫を考える
7月	呉屋朝幸 (医学部)	肺がんゼロをめざして
9月	永島文夫 (医学部)	東京国際科学フェスティバル セミナー等
9月	金田一秀穂 (外国語学部)	読書と日本語
10月	外国語学部	八王子国際協会日本語ボランティアステップアップ講座
10月	東原英二 (病院)	嚢胞性腎疾患研究会 市民講座
10月	吉野秀朗 (医学部)	循環器疾患とうまく付き合う
10月	渡辺剛 (総合政策学部)	これからの日中関係
10月	斉藤崇 (総合政策学部)	環境問題はいつから始まった？
11月	東原英二 (病院)	前立腺がん市民公開講座
11月	里見和彦 (医学部)	国民病として腰痛とロコモティブ・シンドローム
11月	朝野聡 (保健学部)	健康生活へのライフスキル
11月	小山三郎 (外国語学部)	台湾映画と講演の集いー映画を通じて台湾社会を知るー
12月	金子哲也 (保健学部)	大学コンソーシアム八王子「八王子湧水ネックレス」水質調査結果報告
12月	和田貴子 (保健学部)	羽村市生涯学習センター 「子どもを守る“いざという時の応急処置”」
12月	斎藤元秀 (総合政策学部)	大国ロシアの苦悩
2月	甲能直幸 (病院)	三鷹老人クラブ「高齢者に多い耳鼻咽喉科の病気」
3月	がんセンターケアチーム (病院)	緩和ケア講演会「がん患者の精神的ケアについて」
3月	古賀良彦 (病院)	ゆとろぎ文化講演会「健康な脳をつくる食事と香り」
年3回	古瀬純司 (病院)	三鷹キャンサーネット



平成21～22年度 八王子学園都市大学いちょう塾提供講座

平成21年度

開講日	講師	講座名	サブテーマ
前期	斎藤 元秀 総合政策学部 教授	国際関係論I	
前期	熊谷 文枝 外国語学部 客員教授	アメリカ社会論1	
前期	小野田 欣也 総合政策学部 教授	国際貿易論I	国際貿易の入門解説とGATT・WTOの変遷
前期	江戸 淳子 外国語学部 教授	オセアニア地域圏研究	オセアニアで学ぼう、オセアニアを楽しもう
4月17日 5月15日 29日	石山 陽事 保健学部 教授	循環・神経・呼吸系疾患と医療機器	
5月9日 16日 23日 30日	楠家 重敏 外国語学部 教授	サムライの見たヨーロッパ	『尾蟬歐行漫録』を読む
6月29日 7月6日 13日	潮見 泰藏 保健学部 教授 八並 光信 保健学部 教授 榎本 雪絵 保健学部 准教授	寝たきりにならないためのリハビリ	
8月24日 31日	菰田 照子 保健学部 講師	臨床検査学	尿から得られる情報とは？
9月3日 10日 17日	片桐 朝美 保健学部 講師	健康と社会	すこやかに生きるためのヒント
9月3日 10日 17日	木村 哲也 外国語学部 非常勤講師	地域における日本語教育の活性化	街おこし人おこしの日本語教育
9月12日 19日 26日 10月3日	遠山 菊夫 外国語学部 教授	合意形成のための欧米流コミュニケーション入門	ビジネス交渉術とコンセンサス会議
9月18日 10月16日 11月20日	佐藤 喜宣 医学部 教授 杏林大学病院 虐待防止委員会 副委員長 中村 由紀子 医学部 助教 杏林大学病院 虐待防止委員会 加藤 雅江 杏林大学病院 医療福祉相談室 虐待防止委員会 副委員長 木下 千鶴 杏林大学病院 小児科病棟師長 虐待防止委員会 根本 圭子 杏林大学病院 医療福祉相談室 虐待防止委員会 高木 徹也 医学部 講師	虐待防止のために私たちができること	暴力のないコミュニケーションスキルを身につけるために

開講日	講 師	講 座 名	サブテーマ
9月26日 10月10日 24日 11月7日 21日	黒田 有子 外国語学部 教授 楠家 重敏 外国語学部 教授 長谷川 弘子 外国語学部 教授 渡辺 光恵 外国語学部 教授 吉村 ケイ子 外国語学部 教授	大衆文化とアメリカ	ハリウッド、ゴスペル、サムライ、ディズニーランドからアメリカ大衆文化を考える
後 期	斎藤 元秀 総合政策学部 教授	国際関係論II	
後 期	小野田 欣也 総合政策学部 教授	国際貿易論II	日本貿易の入門解説
後 期	熊谷 文枝 外国語学部 客員教授	アメリカ社会論2	21世紀アメリカの社会問題－マクロの分野を中心に
10月1日 8日 15日 22日 29日	橋本 雄太郎 総合政策学部 教授	生命の終焉をめぐる法律問題	
10月3日 10日 17日 24日	中竹 俊彦 (元)保健学部 教授 関根 名里子 保健学部 講師	土・水・植物そして血液までの観察を通して「生きている自己」をみつめる	ヒトは生物であることを実感しよう
10月28日 11月4日 11日 18日 25日 12月2日 9日	川地 美子 (元)外国語学部 教授	シェイクスピアの世界	『アントニーとクレオパトラ』に見る愛と政治
1月19日 26日 2月2日 9日 16日 23日 3月2日	千葉 洋 総合政策学部 教授 内藤 高雄 総合政策学部 教授 原田 奈々子 総合政策学部 教授 三沢 清 総合政策学部 非常勤講師	やさしく学ぶ簿記の初歩	

平成22年度

開講日	講 師	講 座 名	サブテーマ
前 期	斎藤 元秀 総合政策学部 教授	国際関係論I	
前 期	小野田 欣也 総合政策学部 教授	国際貿易論I	国際貿易の入門解説とGATT・WTOの変遷
前 期	江戸 淳子 外国語学部 教授	オセアニア地域圏研究	オセアニアで学ぼう、オセアニアを楽しもう
前 期	高木 眞佐子 外国語学部 准教授	身体表現論	クラシック・バレエの発達と受容
前 期	熊谷 文枝 外国語学部 客員教授	アメリカ社会論1	21世紀アメリカの社会問題－ミクロな問題

開講日	講師	講座名	サブテーマ
4月8日 15日 5月6日 13日 20日 27日 6月3日 17日 7月1日 22日	(コーディネーター) 玉村 禎郎 外国語学部・大学院国際協力研究科 教授 永井 弥人 明治大学(文学部) 杏林大学(外国語 学部) 等 非常勤講師	奈良時代への旅	平城遷都1300年記
4月13日 20日 27日	和田 貴子 保健学部 教授	すぐに役立つ救急蘇生法(胸骨圧迫と 人工呼吸、AEDなど)	学生と一緒に楽しく学びながら、あなたの大事な人を守 ろう!
5月6日 20日 6月3日 17日	斉藤 崇 総合政策学部 准教授	環境保全と社会	環境問題のさまざまな側面やつながりについて考える
5月8日 15日 22日 29日	高木 眞佐子 外国語学部 准教授	中世写本からルネサンス印刷本へ	イギリス版古事記、『ブリュ』をわかりやすく考察
5月8日 15日 22日 29日	楠家 重敏 外国語学部 教授	外国人の見た幕末・明治	イギリスの外交官はいかに日本を研究したか
5月13日 20日 27日	熊谷 文枝 外国語学部 客員教授	あなたの知らないアメリカ	
6月4日 11日 18日	四倉 正之 保健学部 教授	知っているようで知らない高血圧のす べて	万病のもとの高血圧を克服する方法を伝授
後 期	江戸 淳子 外国語学部 教授	オセアニア地域圏研究	オセアニアで学ぼう、オセアニアを楽しもう
後 期	斎藤 元秀 総合政策学部 教授	国際関係論II	
後 期	熊谷 文枝 外国語学部 客員教授	アメリカ社会論2	21世紀アメリカの社会問題-マクロな問題
後 期	高木 眞佐子 外国語学部 准教授	児童文学論	英語圏における児童文学の発展を追う
後 期	江戸 淳子 外国語学部 教授	文化人類学	異文化で学ぼう、異文化を楽しもう
後 期	小野田 欣也 総合政策学部 教授	国際貿易論II	日本貿易の構造と貿易関連の諸問題
9月21日 28日 10月5日	榎本 雪絵 保健学部 准教授 橋立 博幸 保健学部 講師 倉林 準 保健学部 講師	高齢者が健やかに生活するための介護 予防とリハビリテーション	介護の必要がない日常生活のために
9月28日 10月5日 12日	嶋津 秀昭 保健学部 教授	人の五感を考える	感覚の生理学的な意味と測定法
9月30日 10月7日 14日 21日 28日	橋本 雄太郎 総合政策学部 教授	楽しく老いるために	生命の終焉をめぐる法律問題
10月1日 8日 15日	岡田 洋二 保健学部 准教授	ニンニクの科学	ニンニクをあらゆる角度から探ってみる

開講日	講師	講座名	サブテーマ
10月7日 21日 11月18日 25日 12月9日 16日 1月6日 20日 2月3日 3月10日 17日	(コーディネーター) 玉村 禎郎 外国語学部・大学院国際協力研究科 教授 鄭 英淑 外国語学部・大学院国際協力研究科 専任講師 永井 弥人 明治大学(文学部)杏林大学(外国語 学部)等 非常勤講師	日本の言語文化	
10月7日 14日 21日 11月4日 11日 18日 25日	川地 美子 (元) 外国語学部 教授	シェイクスピアの世界	『冬物語』における家族の崩壊と救済
10月14日 21日 11月4日 11日 18日	川地 美子 (元) 外国語学部 教授	いちから分かるシェイクスピア入門 コース	
11月4日 11日 12月2日 1月13日 2月10日 24日	(コーディネーター) 玉村 禎郎 外国語学部・大学院国際協力研究科 教授 八木橋 宏勇 外国語学部 専任講師 吉田 雅子 国立国語研究所 時空間変異研究系 プロジェクト奨励研究員	日本語の姿	時間と空間からのアプローチ
11月8日 15日 22日 29日	木暮 健太郎 総合政策学部 専任講師	政治学の新しい課題	ガバナンス、インターネット、民主主義
1月25日 2月1日 8日 15日 22日 3月1日 8日	千葉 洋 総合政策学部 客員教授 内藤 高雄 総合政策学部 教授 原田 奈々子 総合政策学部 教授 高田 京子 総合政策学部 准教授 三沢 清 総合政策学部 非常勤講師	やさしく学ぶ簿記の初歩	





〒192-8508 東京都八王子市宮下町 476
Tel : 042-691-0011 (代) Fax : 042-691-3809
<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/society/>
Mail : area@ks.kyorin-u.ac.jp